

(建設経済) 常任委員会意見交換会報告書

1	開催日・会場	令和2年10月9日(金曜日) 全員協議会室
2	開催時間	午前10時00分～午前11時00分
3	出席議員	宮原 伸一委員長 上 疆副委員長 橋本 健委員 入江 寿委員 堺 剛委員
4	参加団体及び人数	商工会青年部 10人
5	目的	太宰府市商工会青年部との意見交換を通して、コロナ禍における商工業者の現状を的確に把握し、今後の議論に反映させる。
6	テーマ	コロナ禍における商工業者の現状について
7	主な意見と応答	<p>(1) 市内商工業者の現状</p> <p>① 遺品整理業→見積もり成約件数減少</p> <p>② 清掃業→除菌関係で売上増加</p> <p>③ 不動産管理業→特に影響なし</p> <p>④ 整骨院→高齢者利用の方が多いことから前年比の6～7割減</p> <p>⑤ 観光商品卸売業→観光業が全く動いていないので大きな影響</p> <p>⑥ 観光小売業→売上壊滅的な状況 開店休業状況</p> <p>⑦ 足場工事業→7月ごろまで売上前年比の半減</p> <p>⑧ 印刷業→秋イベントのポスターチラシの注文が多かったが今年はほぼなし</p> <p>⑨ 洗車業→7月まで売上減少8月から徐々に回復傾向</p> <p>⑩ 美容業→多少減少しているが影響は少ない</p> <p>⑪ 飲食業→大きな影響を受けているが営業時間を短縮しながら行っている</p> <p>⑫ 建設業→影響が少ないところもありますが工事件数は減少傾向にある</p> <p>⑬ デイサービス→高齢者を抱えているので影響が大きい 死活問題</p> <p>(2) 商工会青年部からの要望</p> <p>① 10月より65歳以上の方のインフルエンザワクチン接種が無償化によりどの病院も見方によっては、密接的な待合室になっている。そういった中ドクターや看護師さん達も一生懸命対応している事で疲労困憊な状態になっている。そこで何かしら手当的な慰労金を出してもらいたい。</p> <p>② プレミアム商品券は申込が殺到し、購入可能額に一定の制限があったものの効果がありました。このような景気対策を今後行ってほしい。</p> <p>③ 太宰府に来られる観光客が激減している中、交通渋滞が少ない状況を利用して道路整備など観光業発展のためやっていただきたい。</p> <p>④ プレミアム商品券工事リフォーム券1億円の販売で3倍の申し込み</p>

み。お客様が抽選に当たらず予定していた工事が無くなった。
今後の2弾3弾で商品券の発売については行政が後押しして欲しい。
また工事券の割合を増やして欲しい。

⑤ 公共工事は前年度で予算取りした分を今年度という形なので今年
に関しては心配ない。建設業界は景気の上昇は、1、2年遅れで
やってくる。来年度以降、どういう状況になってくるかかなり心
配。そこで公共工事の本数を今後検討していただきたい。

(3) 応答

コロナ禍のなか商工業者の皆さんの生の声を聴くことができ、現状
を知ることができた。現状について建設経済常任委員会として市の
執行部に伝え、問題の解決にむけて執行部と共に1つでも2つでも
前進していきたい。

このような意見交換の場を毎年設けることによって、商工業者の皆
さんの意見が集約できていくと思う。